

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスしおおむすび				公表日	R8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用児の障害特性に合わせて個別に対応するようにしています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	0	人員規定を守って配置しています。	の、個々の支援ニーズの高度化に対応するため、より質の高い人員配置や役割分担の明確化が求められる。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	1	車椅子の利用者にはスロープを使用し、利用者に合わせて環境を整えています。	環境整備は一定の配慮がなされているが、障害特性に応じた構造化や視覚的支援のさらなる充実が課題である。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	1		清潔面は維持されているものの、活動内容や時間帯によって環境に差が生じないよう、継続的な見直しと改善が必要である。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4	0	大人数や少人数など部屋によって人数を変え、その都度個別に対応できるようにしています。	個別対応は行われているが、利用児の状況に応じたより柔軟で細やかな空間調整の強化が求められる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0		PDCAサイクルは実施されているが、全職員が主体的に参画できる仕組みづくりや振り返りの質の向上が課題である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		保護者意見の収集は行われているが、その内容をより具体的な改善につなげる体制の強化が必要である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		職員の意見は共有されているが、意見が反映される仕組みの明確化と継続的な改善サイクルの強化が求められる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		外部評価の活用については不十分な面があり、第三者の視点を積極的に取り入れる体制整備が課題である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		研修機会は確保されているが、より実践的で継続的なスキル向上につながる研修体制の充実が必要である。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		支援プログラムは作成されているが、保護者や関係者に対する分かりやすい公表や周知の強化が求められる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	保護者の声に耳を傾け計画書を作成しています。	アセスメントは適切に実施されているが、客観性のさらなる向上と記録の質の統一が課題である。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		計画作成は行われているが、全職員の共通理解をより深めるための情報共有の強化が必要である。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		計画共有は実施されているものの、支援への反映状況にばらつきが見られるため、統一した支援の徹底が課題である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		アセスメントは実施されているが、フォーマル・インフォーマル双方の活用の充実が必要である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		ガイドラインに沿った支援は行われているが、より具体的に実践的な支援内容への落とし込みが求められる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		プログラム立案は行われているが、より多職種・多角的視点での検討体制の強化が必要である。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	屋外でのイベント活動や、室内で行う季節ごとのイベントを定期的に取り入れています。	活動の多様化は進めているが、固定化を防ぐための継続的な見直しと新規活動の導入が課題である。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		個別と集団のバランスは取られているが、より個々の発達段階に応じた最適化が求められる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		事前打合せは実施されているが、情報共有の質と具体性の向上が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		振り返りは行われているが、記録との連動や改善への反映の強化が課題である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		記録は実施されているが、記録の質の均一化と活用の強化が求められる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		モニタリングは実施されているが、より定期的かつ計画的な見直し体制の強化が必要である。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		基本活動は実施されているが、より効果的な組み合わせや工夫の深化が求められる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		自己決定支援は行われているが、より主体性を引き出す支援の強化が課題である。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		会議参加は行われているが、より専門性の高い職員の参画と情報共有の強化が必要である。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		関係機関連携は行われているが、より密な連携体制の構築が求められる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		学校連携は行われているが、情報共有のタイミングや内容の充実が課題である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		就学前連携については不十分な面があり、引き継ぎ体制の強化が必要である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		移行支援は実施されているが、より計画的な情報提供の仕組みづくりが求められる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		専門機関との連携は限定的であり、助言や研修機会の拡充が課題である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		地域交流は一定実施されているが、継続的な機会創出が求められる。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		協議会参加は不十分であり、地域ネットワークへの積極的参加が必要である。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時に対応しています。	保護者との共有は良好であるが、さらなる丁寧な情報共有の継続が必要である。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		家族支援は実施されているが、プログラムの充実と参加機会の拡大が課題である。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		説明は行われているが、より分かりやすく丁寧な説明の工夫が必要である。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	意向を確認し、同意を得ています。	説明は行われているが、より分かりやすく丁寧な説明の工夫が必要である。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		同意取得は適切に行われているが、理解度を高める説明の工夫が必要である。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		相談支援は行われているが、対応体制のさらなる充実が求められる。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3		保護者交流は十分とは言えず、交流機会の創出が課題である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	月に1回おむすびニュースレターにて発信しています。	苦情対応は実施されているが、周知方法の強化が必要である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		情報発信は行われているが、発信頻度や内容の充実が求められる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1		個人情報管理は行われているが、さらなる職員意識の向上が必要である。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1		意思疎通支援は行われているが、より個別性に応じた工夫が求められる。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		地域開放は限定的であり、地域との関係構築の強化が課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	年2回訓練を実施しています。	マニュアル整備はされているが、定期的な見直しと周知徹底が必要である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年2回訓練を実施しています。	BCPは策定されているが、実践的な訓練の充実が求められる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		健康管理は実施されているが、情報更新の徹底が必要である。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		アレルギー対応は実施されているが、さらなる安全確認の強化が必要である。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		安全管理体制は整っているが、継続的な見直しと改善が必要である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		安全情報の周知は行われているが、より分かりやすい伝達方法の工夫が求められる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		ヒヤリハットは共有されているが、再発防止策の具体化が課題である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		虐待防止は実施されているが、継続的な研修と意識向上が必要である。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束は致しません。	身体拘束については適切に対応されているが、引き続き未然防止と理解促進が重要である。	